



あべきみこ活動 REPORT

あべきみこ事務所

〒131-0043
墨田区立花4-1-8
03-3610-0777
URL: <http://www.abekimi.info>
e-mail: abekimi@abekimi.info



《 2011年 活動報告号外 》

墨田区議会議員あべきみこ
広報・宣伝紙
東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6197 (直通)

この度の東北地方太平洋沖地震では多くの方々が被災され、今も行方不明の方がいらっしゃいます。被災者の皆様に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げ、被災地の一刻も早い復興をご祈念いたします。

被災者の皆さんはこの非常事態に暴動を起こすどころか、日本人として冷静に我慢強く行動されたことを海外のメディアは驚きの目で賞賛しています。私も人として、誇りをもって助けあう行動して行きたいと思っています。

またこの地域に大災害が発生した時には、被害を最小限に、そして万全の防災対策が組めるよう区議会議員としてしっかりと活動して参りたいと思います。今回のレポートはこれまでに取り組んできた災害対策について報告いたします。

Action1 防災対策

私が区議会議員での本会議（平成16年 第4回定例会）での初質問の一つは災害時の安否確認についてでした。

災害発生時は、被災地への安否確認等の電話が集中し通信設備の許容量を超えて、電話がつながりにくくなります。過去の阪神・淡路大震災や宮城県沖地震では安否確認のための電話が殺到し、そのため発信規制がかかり電話がつながりにくい状態になりました。この度の東北地方太平洋沖地震も同じです。災害が起こった際の安否確認は災害時の重要な電話がスムーズに使えるためにも一般の電話を自粛してもらえるのが一番ですが、家族の安否は気になります。区民の皆様に災害時の家族の安否確認の一つの方法として、毎月二十五日のすみだ家庭の日に災害が起こったときにそれぞれの役割や安否の確認方法（災害用伝言ダイヤル171）を日ごろから話し合っていくことをいち早く提案して参りました。合わせて災害時の学校と保護者の連絡方法について指導を徹底することを求めて参りました。

平成17年度 第3回定例会では、学校と保護者の連絡体制に電話連絡網だけではなく、昨今の情報入手手段を考え、警報メール等の導入についても早急に検討していただくよう要望し、平成18年8月度より導入され7095名（平成22年11月現在）の方が登録されています。

墨田区では錦糸町駅のすみだトリフォニーホールやショッピングモールオリナス等の集客施設を抱えています。春には年間来場者数270万人を見込んでいるの東京スカイツリーが開業します。3月11日の震災時、墨田区が解放した一時避難所には約4300名の帰宅困難者を墨田総合体育館や学校で受け入れをしました。職員が帰宅困難者の誘導や支援を行いました。かなり混乱したと聞いています。帰宅困難者に対する情報の提供、保護支援、交通手段の確保の対策として地域の事業所と区が手を結び、発生した地域の帰宅困難者をいかに円滑に帰宅させるかという問題に取り組む帰宅困難者対策地域協力会を早急に設立し、災害時の帰宅困難者に対して、避難誘導、帰宅のための情報の提供、飲料水の配布などの支援を区と協力して行う事業所の募集を行うよう要望しています。

墨田区では、従来の不燃化対策から「燃えない、壊れないまちづくり」に加えて、平成17年度から新防災対策を実施。さらに、墨田区復興基本条例も策定され、災害に強いまちづくりに取り組んで参りました。これからは地域の防災・救援活動のリーダーとして、防災士の活用や中学生を地域での防災活動の担い手として育ていくことを提案しました。現在、鐘淵中、吾孺第一中、文花中の3校で立ち上げている自主防災組織を平成23年度より新たに2校立ち上げていただけるようになりました。



がんばろう
日本。

節電に

ご協力お願いします。

地震と津波による原子力発電所、火力発電所の運転停止により発電の総量が大きく落ち込んでいます。電力の供給不足から突然の大規模停電に陥れば、国民生活や経済活動に与える打撃は極めて甚大であり、何としても避けなければなりません。

この大地震津波による被害を国を挙げて克服していくという観点から特に東京電力・東北電力管内の皆さまに節電をお願い申し上げます。

～ 地域の皆様の声を大切に実現してきた実績です ～

高齢者福祉

孤独死対策として「文花高齢者みまもり相談室」「みどり高齢者みまもり相談室」を設置
すみだ福祉サービス権利擁護センターで社会貢献型後見人の養成

特別養護老人ホームの増設

旧立花小学校跡地に、平成24年5月開設予定の特別養護老人ホーム（158床）、ケアハウス（20床）、グループホーム（18床）、ショートステイ（20床）が建設されます。

子育て支援

認証保育園の保育料負担軽減のため認証保育所と認可保育園の保育料との差額分、15,000円から25,000円を助成

待機児童解消のため保育園の新設や既存の保育園の分園の開設・改修により定員を拡大

予防接種の充実 子宮頸がん予防ワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種の実施

子ども医療費（中学3年生まで）が無料化

病後児保育の実施（わらみどり保育園）や緊急一時保育や一時保育の定員枠の拡大

子育て相談センターの開設（現在の子育てひろば）

妊婦検診が無料に（14回まで）

安心・安全のまちづくり

街歩きトイレの整備

旧中川の河川整備（仮称）旧中川水辺公園整備事業

防災対策事業の拡充 災害対策活動スペースと備蓄倉庫の整備

観光回遊性の向上として区内循環バスの運行とインフォメーションボードの設置

タワー開業前に区内循環バスを運行（区内3ルート）

空き巣、強盗などの防犯情報をメールで配信する「すみだ安全安心メール」が実現

防犯カメラの設置助成



あべきみこ
後援会事務所

〒131-0043
東京都墨田区立花4-1-8
TEL: 03-3610-0777
FAX: 03-3610-0770

これからも地域の皆様からいただいた声を大切に、墨田区で働く人、暮らす人すべての人が明るく元気にすごせる街づくりを進めてまいります。地域や生活の中で困ったこと、改善したいことがありましたらご相談ください。行政にかかわることでご意見・ご要望がございましたら『あべきみこ後援会事務所』又は [✉ abekimi@abekimi.info](mailto:abekimi@abekimi.info)までご連絡ください。

Action 2 さらなるご活躍を!

あべ議員さんは「元気なすみだをつくる」という信念の下、熱心かつ精力的に活動されております。

さて区では「25万人都市すみだ」の都市経営のあり方や東京スカイツリーの開業、さらには社会経済情勢の変化に伴う行政需要などを踏まえ、墨田区基本計画の後期計画の改定を行います。

また、この度東北地方太平洋沖地震の教訓を踏まえ、防災対策をはじめ安全・安心なまちづくりを積極的に推進してまいります。

こうした中、あべ議員さんの本区を愛する熱いお気持ちと行動力は、たいへん頼もしい存在です。

あべ議員さんには、本区の輝かしい未来のために、さらにご活躍いただくことをご期待申し上げます。

墨田区長 山崎 昇



義援金の ご協力をお願いします。

民主党は東北地方太平洋沖地震による被災地支援のため義援金の受付をいたします。

振込口座は右記の通りです。なお、お預かりした義援金は民主党への寄付ではありません。民主党が募金者の皆様からお預かりし全額被災支援活動にお届けします。

皆様のご協力をお願いいたします。

郵便振替の場合

「民主党募金口座」（記号）00110-6（番号）65328

銀行振込の場合（りそな銀行衆議院支店・普通貯金）

「民主党募金口座」（店番）328（口座番号）7815354